

取扱説明書

DENDOMICON SPEEDO 250

このたびは、当社の電動リールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、リール同様大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

もくじ

1. 安全上のご注意 -----P2	6. コントロールボックスの説明 --- P8	8. 操作方法	* 底モード ----- P23～24
2. お取扱上のご注意 ----- P3～4	7. ご使用前の準備	* 船べり自動停止 ----- P16～17	* 高切れ修正 ----- P25
3. リールのお手入れ方法 -- P5	* 電源の接続方法 ----- P9	* 水面0セット ----- P18～19	9. セーフティ機能 ----- P26～27
4. 主な機能と特長 ----- P6	* ラインデータ入力方法 ---- P10～15	* 電動巻上と変速方法 -- P20	10. 故障かな?と思われた時 -- P28
5. 各部の名称と機能 -----P7		* 棚モード ----- P21～22	11. パーツリスト ----- P29～30

安全上のご注意

● ご使用前に必ずお読みください。 ●

⚠ 警告



● レベルワインドと本体の間に指をはさまないよう注意してください。

⚠ 注意



- 糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- リールの回転部分には、グリスや油が付いていますので、服をよごさないように注意してください。



- 回転している時、回転部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
- ハンドルの逆転ストッパーが働いていることを確認してからモーターを駆動させてください。



- バッテリー、船電源の所定電圧 (12 V) 以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、発熱でのヤケドや、電子部品が破損する恐れがあります。



- 分解・改造等はいしないでください。故障や事故につながる原因となります。



- 水の中に浸けて洗わないでください。

お取扱上の注意

1 電源について

電源は、直流(DC) 12 V対応です。

指定外の電源（家庭用の交流 100 V、船電源の直流 24 Vなど）は、使用できません。

- 容量の小さいバッテリーは、電圧の降下が早く、電動リールの性能を十分に発揮できないことがあります。10 Ah 以上のバッテリーをおすすめします。
- 船の 12 V 電源は、発電機や配線の状態によって電圧が不安定になり易く、リールの保護回路が働き、安定した性能が発揮できなくなったり、動作が停止したりする場合があります。電動リール専用のバッテリーの使用をおすすめします。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- 端子部のサビ等で、通電不良になり正常に作動しない場合があります。サビなどを取り除いてご使用ください。



DC12V



AC100V



DC24V

● 出発前に確認してください。 ●

- バッテリーは、長時間放置されると自然放電により、容量が低下している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行ってください。
- 船の電源には、電圧、接続端子形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。

お取扱上の注意

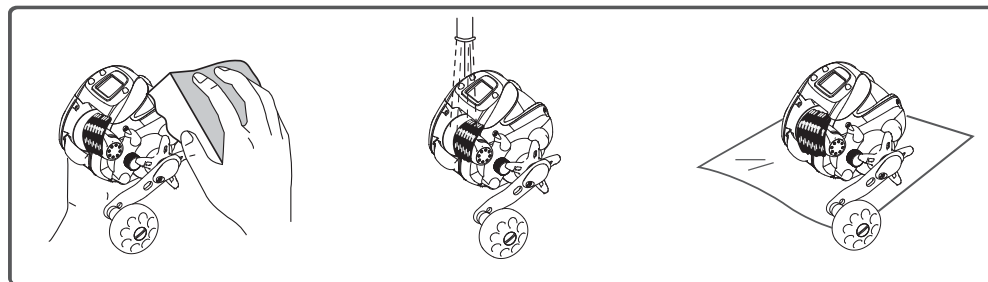
2 電源コードについて

- 電源との接続は、必ず付属の電源コードをご使用ください。
付属（純正）以外の電源コードや接続部の改造等を行った電源コードを使用されると、
リールが正常に作動しない場合があります。
- 電源コードは、乱暴に扱わないでください。
リールに巻きつけたり、踏みつけたり、折り曲げたりすると、故障（断線）の原因になります。
- ご使用後は、水に浸した布で汚れを拭き取り、乾かせて保管ください。
（水の中につけて洗うことは、おやめください。）
- 移動時、保管時は、リールから外した（抜いた）状態で行ってください。
- コードを抜く時は、必ずコネクター部を持って抜いてください。
- コードの上に重い物を乗せたり、結んだりする行為はおやめください。

3 リール本体について

- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないでください。
布等で手を保護して糸をつかんで切るようにしてください。
- 落下等による強い衝撃を与えないようにていねいに取り扱いってください。
- 船の竿立てに収める時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう注意してください。

リールのお手入れ方法



1 リール本体を洗剤を含ませたスポンジや布等で汚れを落としてください。

2 水をかけて洗剤と汚れを落とします。スプール部へも水をかけて塩分を落とします。

3 よく水を切って、陰干しで乾燥させてください。

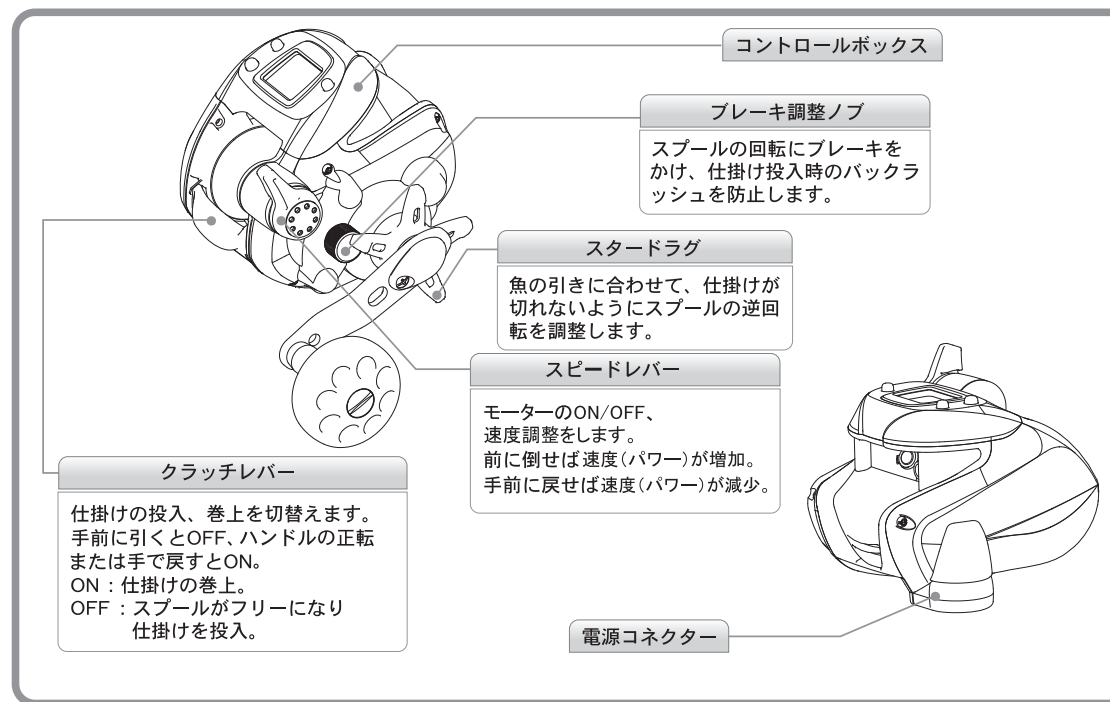


ご注意

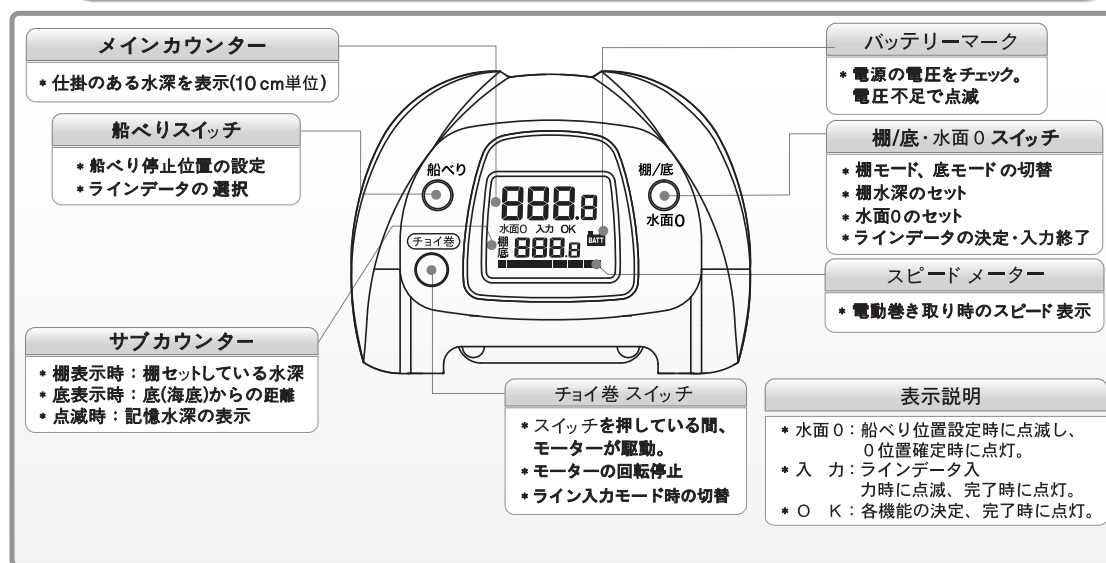
- 洗剤は、中性洗剤をご使用ください。
- 水に浸けて洗うことは、おやめください。
- 高温、高湿の状態で長時間放置されると、変形や強度劣化の恐れがあります。
- 洗浄後は、風通しの良い、高温・高湿にならない場所で保管してください。
- ドラグ部分には絶対オイル等を注油しないでください。ドラグ力の低下や作動不良の原因になります。
- コネクター部の保護のため、リールをご使用にならない時はコネクターキャップをしてください。

主な機能と特長

スピードレバー	電動のON/OFF及び巻上スピード(パワー)の調整が可能。
パーフェクトドラグ	滑り・パワー・耐久性に優れたカーボン素材を採用。
チョイ巻	スイッチを押している間、モーターが回転します。糸ふけ取りや誘いに便利。(変速は出来ません)
船べり自動停止	竿、仕掛けに合わせた船べりでの停止位置を設定可能。仕掛けが、手元に戻ってきます。
水面0セット	水面の位置を0 mに設定。より正確な棚あわせが可能。
棚セット	魚の釣れた水深を記憶して、アラームでお知らせ。
自動棚記憶	魚の釣れた棚を巻上後に確認・セットが可能。
底モード	底(海底)からの仕掛けの位置を表示します。
高切れ修正	道糸が切れた場合、ラインデータの修正を行います。



コントロールボックス各部の説明



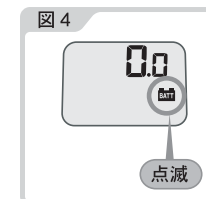
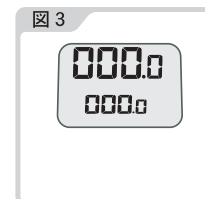
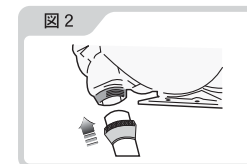
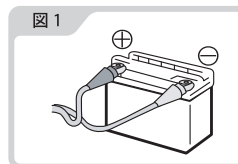
ご注意

- ① 図は、説明のため液晶画面を全点灯状態にしています。
- ② カウンタ表示は、-10度以下及び60度以上の場合、液晶の特性上、文字が見えにくくなる事があります。ご了承ください。

ご使用前の準備

電源との接続

- ① 電源コードのクリップをバッテリーに接続してください。
赤クリップを(+)側端子へ、黒クリップを(-)側端子に接続します。(図1)
 - ② 電源コードのプラグ部の凹部とリール本体のコンネクターの凸部を合わせて奥まで差し込み、ネジリングでしっかりと締めてください。(図2)
 - ③-1 正しく接続が行われると、連続アラーム音が鳴り、セッティング画面が表示され、図3の表示となります。
(デモモード : ラインデータが未入力の状態)
 - ③-2 ラインデータの入力が行われている場合は、セッティング画面の後、図4の表示になります。
 - 図4の状態では立ち上がった時、バッテリーマークが点滅していますが、電圧がOKであれば、5秒後に消去します。バッテリーマークが消去しない場合は、バッテリーの電圧が低下しています。交換するか、充電を行ってください。
 - 図4(ラインデータ入力済み)の状態では立ち上がって場合は、安全のため、船べり停止水深表示(5m)までは、スピードレバーでの巻上はできません。**「チョイ巻」**スイッチでの巻上は可能です。
- * 船べり設定をしていない場合は船べり停止水深表示は5mに設定されています。
- * 5m以上の水深表示にすれば、スピードレバーでの電動巻上が可能です。



ご注意

- * 一度電源に接続すると、バックアップ機能が働きます。5分以内再接続の場合は、セッティング画面は表示されませんが、問題ありません。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - A

- 入力されたラインデータを利用する場合。

* このリールには、下記の2つのラインデータが用意されています。

PE3-300m PE4-200m

- ① 糸をレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- ② 電源の接続を行い、図5の表示画面になったことを確認してください。
(ラインデータが入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ [棚/底・水面0] と [船べり] スイッチを同時に3秒押してください。
図6の表示になります。
- ④ [船べり] スイッチを押して巻かれる糸の号数と長さを選択してください。
スイッチを押す毎に表示が変わります。(図7)

図5

000.0
000.0

図6

300.0
-3-

図7



ご使用前の準備

- ⑤ 巻かれる糸と選択したラインデータが合っていることを確認してスピードレバーを操作して糸を巻きます。
- ⑥ 選択されたラインデータの 15 m 手前で自動的にモータが停止します。停止後は、ハンドルか「**チョイ巻**」スイッチで残りの糸を巻き取ってください。(糸を巻き込まないように注意してください)
- ⑦ 巻き終わったら、「**棚/底・水面 0**」スイッチを押して入力完了です。画面表示が図 8 のように変化します。

図 8



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1 ～ 1.5 kg のテンションで巻いてください。
- ② デモモード選択画面で「**棚/底・水面 0**」スイッチを押すと、設定されたデータは消去され、デモモード（出荷状態）になります。
- ③ 途中で間違えた場合は、一度「**棚/底・水面 0**」スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ④ 水深表示精度は、± 3 % 以下となっていますが、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - B

- 糸の種類・号数が分かっている時に利用します。
 - * 入力可能なラインの種類と号数。PE 2号・3号・4号
 - * 上記以外のラインは、入力できません。
- ① 糸をレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- ② 電源の接続を行い図9のような画面表示になったことを確認ください。
(ラインデータ入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ **棚/底・水面0** と **船べり** スイッチを同時に3秒押してください。
図10の表示になります。
- ④ **船べり** スイッチを押して、入力モードにします。(図7、図11参照)
- ⑤ **チョイ巻** スイッチを押して、巻き取るラインの種類・号数及び下巻きの有無を選択してください。
スイッチを押す毎に、表示が変わります。(図12)

図 9



図 10

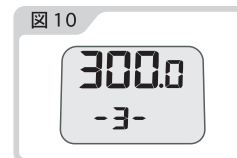
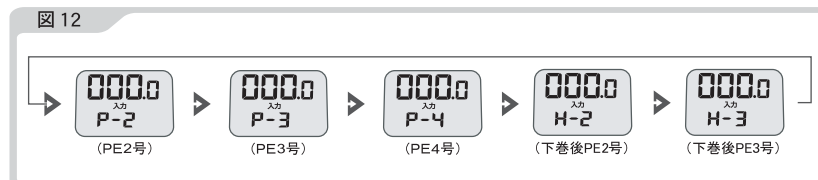


図 11



図 12



ご使用前の準備

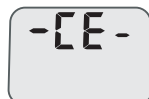
- ⑥ セットされた糸と選択した表示が合っている事を確認してスピードレバーの操作で糸を巻きます。
- ⑦ 巻き終わったら「棚/底・水面0」スイッチを押してください。
図 13 のように画面が変化すれば、入力完了です。糸の巻き込みに注意してください。

図 13

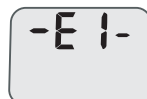


ご注意

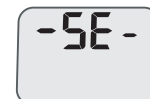
- ① 糸を巻くときは、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ② 途中で間違えた場合は、一度「棚/底・水面0」スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。
- ④ 入力中や、入力完了時の画面表示に下図のような表示が出た場合は、入力方法の間違い、もしくはリールの不具合が考えられます。
- ⑤ 「-CE-」、「-SE-」のエラー表示の場合は、修理が必要です。お買い求めの販売店へ修理依頼をお願いします。
- ⑥ エラー表示「-E1-」が出た場合は、糸の巻き取り量が不足しています。50m以上巻いてください。”



コントロールボックスの不具合



糸の長さ不足



スプール回転検出不具合

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - C

- 下巻き後にラインデータを入力する場合
 - * 下巻き後に入力できる糸の種類と号数は、PE 2号・3号の2種類です。
 - * 下巻き位置の目安は、「下巻カード」(図14)を使用して確認ください。
 - * 下巻き後に巻き取れる糸巻量は、PE2号が約200m、PE3号が約200mです。
- ① 下巻き用の糸をレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
 - ・スプール面での糸滑り防止のため、「糸止めピン」に糸を結んでください。
- ② 電源の接続を行い、下巻き用の糸を巻きます。
 - ・下巻カードを使用して、使用する上巻糸に対応した下巻き位置を確認します。
- ③ 下巻き完了後、上巻糸を結びます。
- ④ 棚/底・水面 0 と 船べり スイッチを同時に3秒押してください。
図15の表示になります。
- ⑤ 船べり スイッチを押して 入力モードにします。(図7・図12・図16参照)
- ⑥ チョイ 巻 スイッチを押して、下巻き後の糸の種類と号数の表示を選択します。(図17)

図14

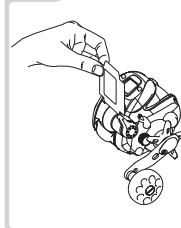


図15



図16



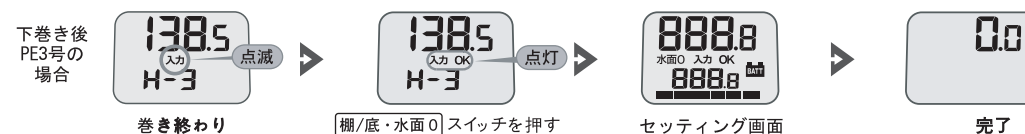
図17



ご使用前の準備

- ⑦ スピードレバーの操作で糸を巻きます。
- ⑧ スピードレバーをOFF位置に戻して 巻取りを終了させ、**棚/底・水面0** スイッチを押して入力完了です。
画面表示が、図18のように変化します。

図18



* カウンター内の数値は例として表示しています。
実際に巻かれた場合に同じ数値を示すわけではありません。



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ② 途中で間違えた場合は、一度 **棚/底・水面0** スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、下巻きの位置や、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。

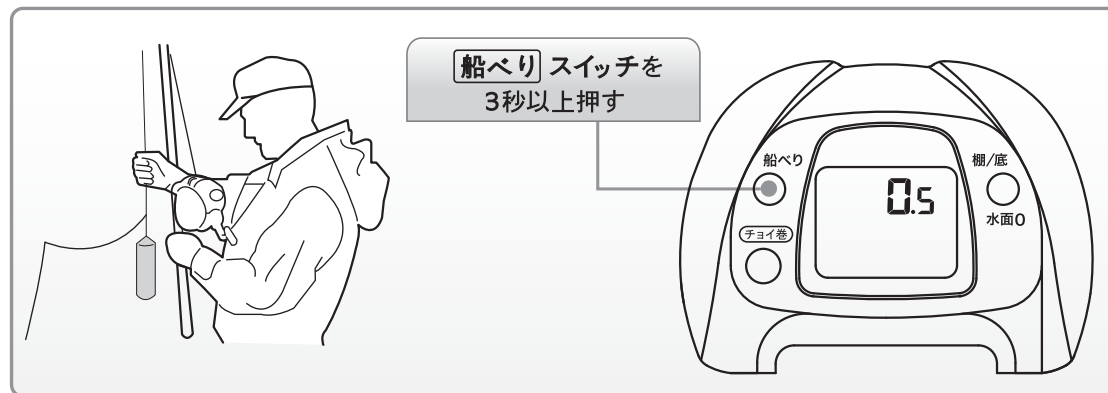
操作方法

1 船べり自動停止

- 竿を立てると、仕掛けが手元の高さになるように電動巻取りの停止位置を設定します。
- 停止位置の5m手前から1mおきにアラームでお知らせします。

操作手順 ①：リールから糸を出して、仕掛けをセットした後、電源を接続します。

操作手順 ②：仕掛けが手元にくるように糸の長さを調節します。



操作方法

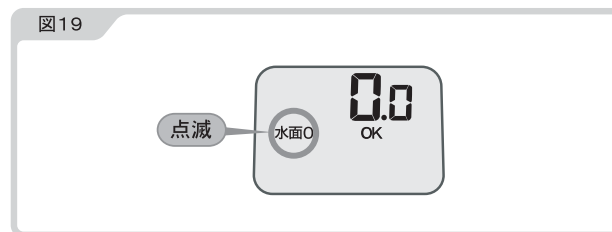
操作手順 ③ : **船べり** スイッチを 3 秒以上押します。

アラームがなり、画面表示が図19のようになれば、停止位置の設定完了です。

* この時、水面 0 が点滅します。水面 0 設定を続けて行うことができます。

* “OK”は、5 秒間点灯後消去します。

図19



ご注意

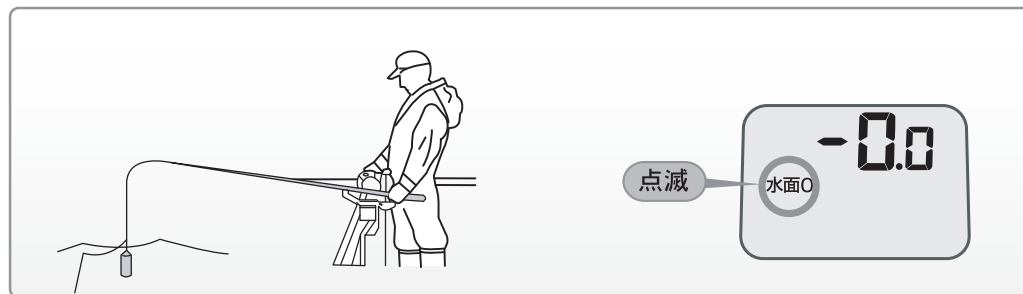
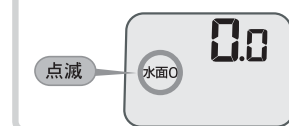
- ① 船べり設定を行わずに仕掛けの投入を行うと、船べり停止位置は 5 m になります。
- ② 糸に掛かる負荷により糸が伸縮して停止位置がずれることがあります。
その際には再設定を行ってください。
- ③ 水面 0 点滅中に水面 0 設定を行わずに仕掛けを投入して釣りをおこなっても問題ありません。
カウンター表示 10.0 以上で自動的に **水面 0** は消去します。

操作方法

2 水面 0 設定

- 正確な棚取りを行うために、水面の位置を 0.0 として設定します。
 - * 船べり停止位置の設定完了時、画面表示に **水面 0** が点滅しています(図 20)
- 操作手順 ①：竿を出し、仕掛けが水面にくるようにハンドルで調節します。
- * 仕掛けを水面まで巻き上げると、水深表示は -0.0 になります。

図 20



操作方法

操作手順 ② : 棚/底・水面0 スイッチを押してください。その位置が水面0位置になります。

画面表示の水面0が点滅から点灯に変わり、OK 表示が点灯。(図21)

* 水面0、OK表示は、メインカウンタ 10.0 以上で自動的に消去されます。

図 21



ご注意

- ① 水面0の位置は、船べり停止位置ではありません。

操作方法

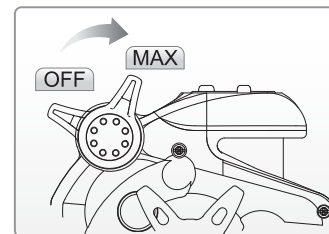
3 電動ONと変速

- モータの起動と速度調整。

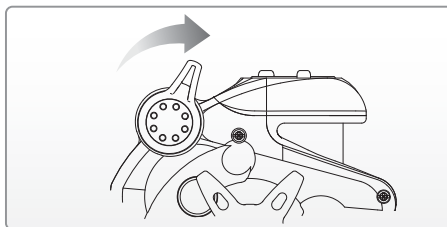
操作手順 ①：スピードレバーをOFF位置から操作前に倒してください。

* 巻上を開始する時、スピードレバーがOFF位置にない場合は、レバーを一度OFF位置に戻してから操作してください。

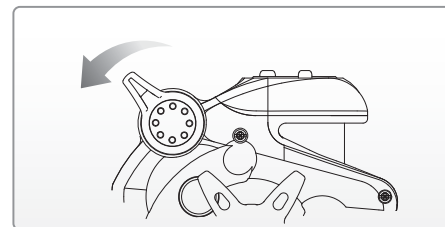
操作手順 ②：スピードレバーを前後に動かすこと速度(パワー)調整できます。



* スピードレバーを前に倒せば、スピード(パワー)がアップします。



* スピードレバーを手前に戻すと、スピード(パワー)がダウンします。



ご注意

- ① 船べり停止後は、巻き込み防止のため スピードレバーでのモーター起動はできません。 **チョイ巻** は、操作可能です。

操作方法

4 棚モード

- 魚のいる水深（棚）を記憶し、アラームでお知らせします。

操作手順 ①：仕掛けを投入し、棚で仕掛けを止めます。

操作手順 ②：[棚/底・水面 0] スイッチを押します。棚セット完了です。

* メインカウンターの水深が、サブカウンターに表示されます。(図 23)

* 次回からの投入時、棚の 5 m 手前からアラームでお知らせします。

自動棚記憶

- 仕掛けを巻上げた後で魚の釣れた水深を棚セットする場合。

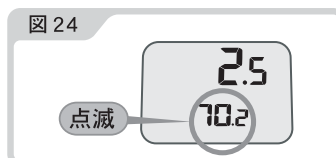
操作手順 ①：仕掛けを巻上げます。

* メインカウンターの表示が 10.0 未満になると、

サブカウンターに水深が点滅します。(図 24)

(点滅している水深は、最深部、または 5 秒以上停止した水深)

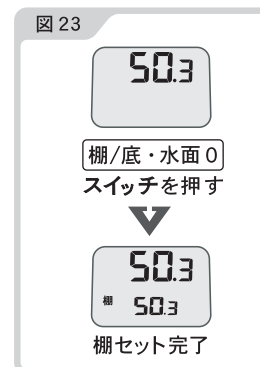
操作手順 ②：水深が点滅している時に [棚/底・水面 0] スイッチを押すと、点灯に変わり棚セットされます。(図 25)



* 点滅中に [棚/底・水面 0] スイッチを押さずに仕掛けを 10m 以上出した場合、

① 前に棚セットしていれば、前の棚セット水深が表示されます。

② 棚セットをしていなければ、消去されます。

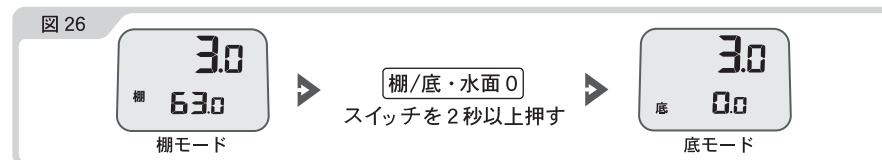


操作方法

棚モードの解除

- **棚/底・水面 0** スイッチを 2 秒間以上押すと、底モードに切り替わります。(図 26)
* 棚セットされた水深は消去されます。
* 再度、棚モードに切替える場合は、**棚/底・水面 0** スイッチを2秒間以上押してください。

図 26



ご注意

- ❶ 10 m未満の水深での棚セットは行えません。
- ❷ モータ回転中の棚セット、解除は行えません。
- ❸ 棚(底)表示は、一度表示されると、バックアップが切れるまで消去できません。

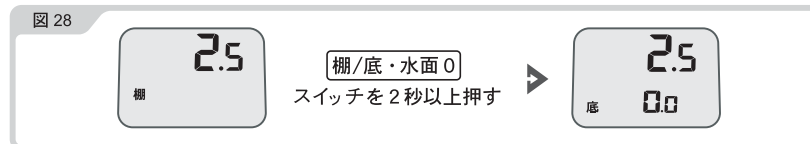
操作方法

5 底モード

- 底（海底）から仕掛けまでの距離を表示します。

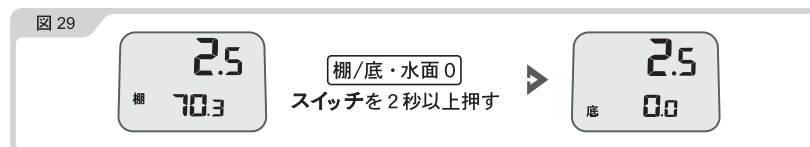
サブカウンターに「棚・底」の表示が出ていない場合。

- 操作手順 ①：「棚/底・水面 0」スイッチを押します。（図 27）
- * サブカウンターに「棚」と表示されます
（メインカウンター表示が 10 m 以上あれば、棚セットされます）
- 操作手順 ②：もう一度、「棚/底・水面 0」スイッチを 2 秒以上押してください。
- * サブカウンターに「底 0.0」と表示されます。（図 28）



サブカウンターに「棚」表示が出ている場合。

- 操作手順 ①：「棚/底・水面 0」スイッチを 2 秒以上押してください。
- * サブカウンターが「棚」表示から「底 0.0」表示に変わります。（図 29）



操作方法

底モード使用方法

操作手順 ①：仕掛けを底(海底)まで落とし、糸ふけを取ります。

* サブカウンターに糸ふけを取った距離が表示されます。(図 30)

操作手順 ②：「棚/底・水面 0」スイッチを押してください。

* サブカウンターの表示が「底 0・0」になります。(図 31)



ご注意

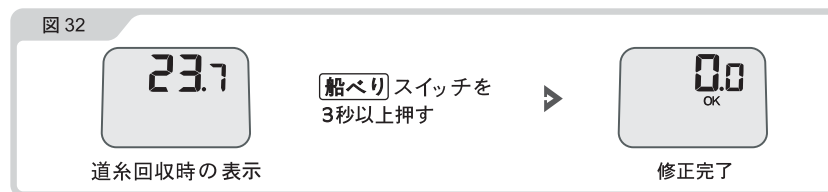
❶ 底(棚)表示は、一度表示されると、バックアップが切れるまで消去できません。

操作方法

6 高切れ修正

- オマツリ、フグ等により道糸が切れた場合、ラインデータの修正が可能です。
- * 高切れ修正は、10 m以上の道糸が切れた場合に行います。
- 操作手順 ①：道糸を回収し、仕掛けを結びます。
- 操作手順 ②：**船べり** スイッチを3秒以上押してください。(修正完了)
 - * アラームが鳴って、メインカウンターが 0.0 になります。(図 32)
 - * サブカウンターに OK 表示が出ます。

図 32



- * 高切れ修正後、**船べり停止位置** **水面 0** の再設定を行ってください。



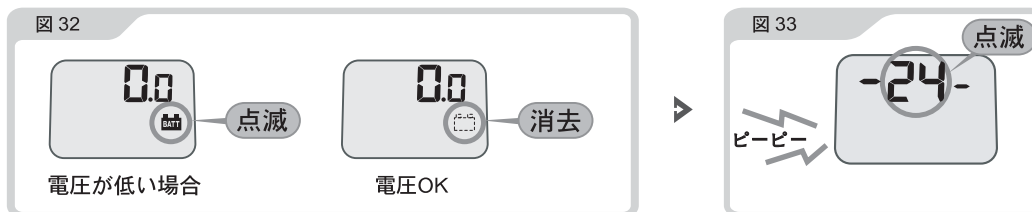
ご注意

- ① 高切れ修正後、船べり停止位置の設定を行わないで仕掛けを投入すると、船べり停止位置は、5 mになります。

便利な機能（セーフティ機能）

1 バッテリー（電源）チェック

- 電源接続時にバッテリー（電源）の電圧をチェックします。
- ① 電圧がOKであれば、点滅しているバッテリーマークが5秒後に消去します。
- ② 電圧が低い場合は、バッテリーマークは点滅のままです。(図 32)
* バッテリーを交換するか、再充電を行ってください。
- ③ 電源の電圧がリールの使用可能範囲より高い場合、アラームと画面表示で警告します。その電源の使用をおやめください。(図 33)



2 メモリーバックアップ

- 釣りをしている時、不意にコードやクリップが外れても、安心です。
約 5 分間は、水深情報等のデータは記憶されています。



ご注意

- ① 電源が外れた状態でラインの放出・巻取りを行わないでください。カウント誤差につながります。

便利な機能（セーフティ機能）

3 過負荷制御（ブレーカー）

- モータに過負荷がかかった場合、モータを保護するためブレーカーが作動し、モータを停止します。アラームが鳴ります。
- スピードレバーを一度OFF位置に戻してからレバーを操作すれば復帰します。



ご注意

- ① 復帰させる場合は、負荷を軽減した状態で行ってください。

4 パワーアップシステム

- 低速、中速での巻き上げ中に負荷がかかり、スプール回転が約10秒以上停止すると巻き上げ速度を維持しようとモーターパワー（スピード）を上げていきます。
- パワーアップ後は、スピードレバーを動かせば、スピード表示に対応した速度に戻ります。

5 船べり減速停止

- 竿や仕掛けへのショックを和らげるため、船べり停止位置の手前から減速して停止します。
 - * MAXスピードで巻上の場合、停止位置の5 m手前から減速します。
 - * 低速の4～8ブロックでの巻上の場合、停止位置の3 m手前から減速します。



ご注意

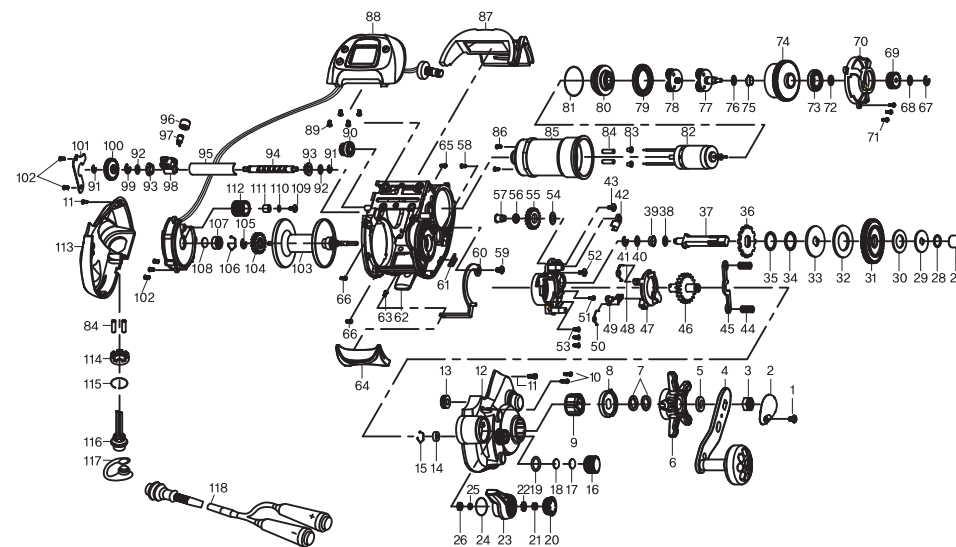
- ① 減速区間では、速度の調整（変更）はできません。
- ② 低速の1～3ブロックでの巻上時は、船べり減速はありません。

故障かな？と思われた時は

- お問い合わせ、修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。

症状	考えられる原因	確認・対処方法
液晶画面の表示が出ない。	● 電源コードが正しく接続されていない。 ● 電源コードの断線。 ● バッテリーの電圧不足。	● 正しく接続してください。 ● 販売店へご相談ください。 ● 充電もしくは他のバッテリーでご確認ください。
カウンター表示の誤差が大きい。	● ライン設定の誤り。 ● ラインの伸びによる。	● 再度、ライン入力を行ってください。
電動での巻上げができない。	● 表示が0.0になっている。 ● バッテリーの容量不足。 ● 接続端子が錆びている。 ● 船の電源を使用している。 (配線等の関係で、電圧低下している)	● 船べり停止距離以上の水深 表示にしてください。 ● 充電もしくは、他のバッテリーで確認ください。 ● 錆を落として確認ください。 ● 専用バッテリーでご確認ください。

* 以上の確認を行っても、正常に戻らない場合は、故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、お買い求めの販売店に修理依頼をお願いします。



Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name
1	スクリュー	31	ドライブギヤー	61	ラインストッパー	91	リテイナー
2	ハンドルナットキャップ	32	ワッシャー	62	フレーム組	92	ワッシャー
3	ナット	33	ワッシャー	63	タップスクリュー	93	ブッシュ
4	ハンドル組	34	ワッシャー	64	クラッチレバー	94	ウォームシャフト
5	ワッシャー	35	ワッシャー	65	タップスクリュー	95	パイプ
6	スタードラッグ	36	ラチェット	66	タップスクリュー	96	ナット
7	スプリングワッシャー	37	ギヤーメタル	67	リテイナー	97	レベルwindピン
8	クリックホルダー組	38	ワッシャー	68	ワッシャー	98	レベルwind組
9	ウンウェイクラッチ	39	ブッシュ	69	ビニオン	99	リテイナー
10	スクリュー	40	ワッシャー	70	ギヤーホルダー	100	トラバースギアー
11	タップスクリュー	41	リテイナー	71	スクリュー	101	プレート
12	右サイドカバー組	42	ストッパー組	72	ワッシャー	102	スクリュー
13	ブッシュ	43	スクリュー	73	ボールベアリング	103	スプール組
14	ブッシュ	44	コイルスプリング	74	インターナルギヤー	104	ジョイントギヤーB
15	ストッパーA	45	クラッチバー	75	ブッシュ	105	リテイナー
16	テンションノブ	46	スプールギヤー	76	ワッシャー	106	リング
17	ワッシャー	47	クラッチカム	77	ギヤーシャフト組	107	ボールベアリング
18	ワッシャー	48	カムスプリング	78	サンギヤー組	108	ワッシャー
19	Oリング	49	キックレバー	79	ボールベアリング	109	スクリュー
20	レバーキャップ	50	キックレバースプリング	80	モータカバー	110	ワッシャー
21	ナット	51	スクリュー	81	Oリング	111	ブッシュ
22	歯付座金	52	スクリュー	82	モータ組	112	ジョイントギヤーC
23	スピードレバーA	53	スクリュー	83	パッキンB	113	左サイドカバー
24	Oリング	54	ワッシャー	84	収縮チューブ	114	ナット
25	ワッシャー	55	ジョイントギヤーA	85	モータボックス組	115	スプリングワッシャー
26	ナット	56	ボールベアリング	86	スクリュー	116	コネクタ組
27	スリーブ	57	ギヤーカラー	87	フロンドカバー	117	防水キャップ
28	ワッシャー	58	タップスクリュー	88	コントロールボックス組	118	電源コード
29	ワッシャー	59	スクリュー	89	スクリュー		
30	ワッシャー	60	クラッチプレート組	90	マグネットギヤー組		

5KX805010

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, outlined in a dark gray border. It is positioned centrally below the 'MEMO' header, occupying most of the page's width and height. This box is intended for the user to write their memo content.

alpha tackle

A-TEC INC.

株式会社 **エイテック**

[東京営業本部]

〒173-0012 東京都板橋区大和町42-11
TEL 03-3963-8451(代) FAX 03-3963-0776
e-mail tokyo@alphataackle.com

[本社・物流センター]

〒410-0853 静岡県沼津市常盤町3-17-1
TEL 055-963-1711(代) FAX 055-951-5380
e-mail numazu@alphataackle.com